

設定ツール（通常版）使用方法

はじめに

REVIVE USB Type-Cは、12個のI/Oが使用できる通常版と、36個のI/Oが使用できるマトリックス板のファームウェア、および設定ツールがあります。ここでは、通常版を使用する場合の設定ツールの使用方法について説明します。販売時には通常版のファームウェアが書き込み済みです。

ダウンロード

以下のダウンロードリンクをクリックするとダウンロードされます。

- [通常版設定ツールダウンロードリンク](#)

ピンの割当などを行う設定ツールです。本設定ツールはWindowsPCにて動作します。

- [通常版ファームウェアダウンロードリンク](#)

ファームウェアはハードウェアの中に書き込まれているソフトウェアです。

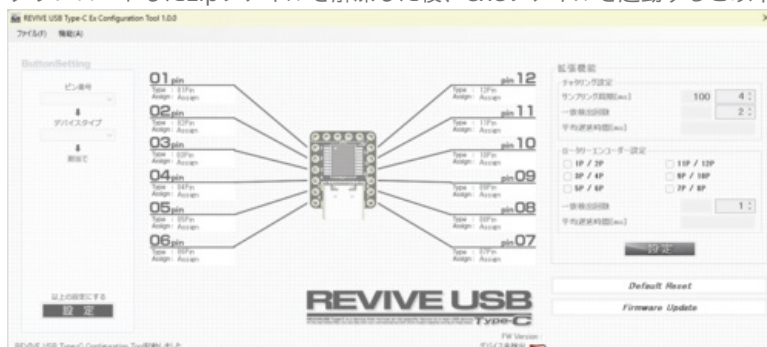
不具合修正や機能追加された新しいファームウェアが公開された際、ファームウェアをアップデートすることで新しい機能が使用できます。

設定ツール使用方法

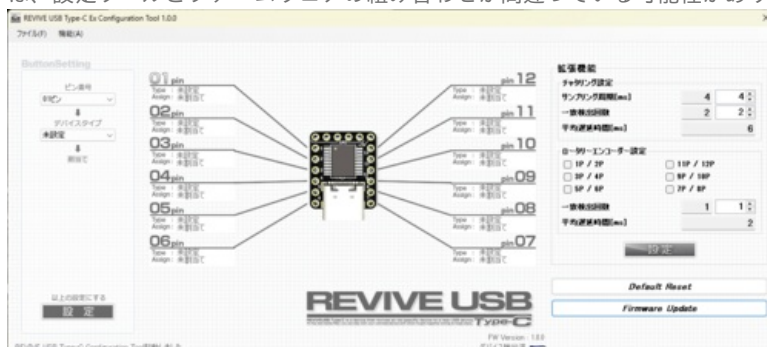
ここでは、REVIVE USB Type-Cのピン設定ツール、REVIVE USB Type-C Configuration Toolの使用方法を説明します。

1. 設定ツールの起動

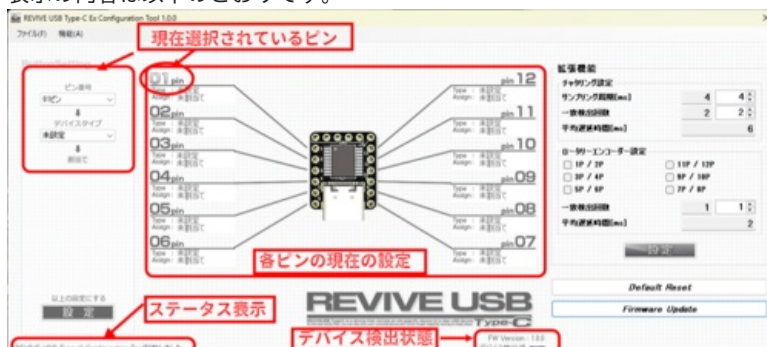
ダウンロードしたzipファイルを解凍した後、exeファイルを起動すると以下の設定画面が開きます。



REVIVE-USB-Type-Cを接続すると、自動的にデバイスが認識され以下のような画面になります。デバイスが認識されない場合は、設定ツールとファームウェアの組み合わせが間違っている可能性があります。再度ご確認ください。



表示の内容は以下のとおりです。

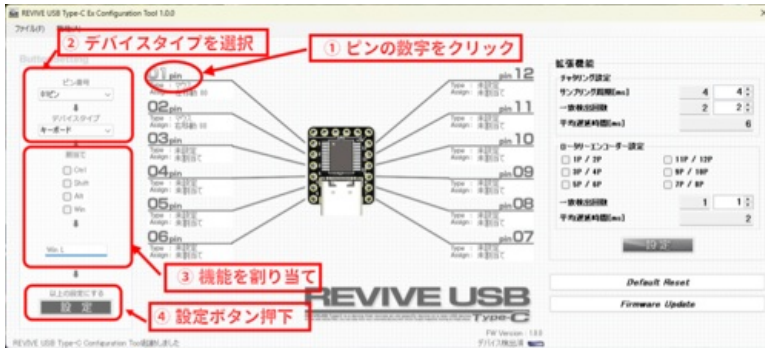


2. 設定順序

設定は以下の順序で行います。

- ① 設定するピンの選択
- ② デバイスタイプの選択
- ③ 機能を割り当て

④ 設定ボタン押下



3. 設定方法

3.1 設定するピンの選択

設定するピンをクリックして選択します。

3.2 デバイスタイプの選択

設定するピンを選んだ後、デバイスタイプを選択します。

デバイスタイプの選択はコンボボックスから行います。

未設定／マウス／キーボード／ジョイパッドから選択可能です。

3.3 機能の割り当て

3.3.1 マウス

マウスは以下の機能を選択することができます。

- ・左クリック／右クリック
クリックに割り当てられたピンがONになると、マウスの左／右クリックが押された動作を行います。
- ・ホイールクリック
ホイールクリックに割り当てられたピンがONになると、マウスのホイール（真ん中ボタン）が押された動作を行います。
- ・上移動／下移動／左移動／右移動
各移動に割り当てられたピンがONになると、マウスカーソルが設定した方向に移動します
マウスカーソルのスピードは「移動速度」で設定できます。デフォルトは50で、1～255の範囲で設定し、値が小さい程カーソル速度は遅く、値が大きいほどカーソル速度は早くなります。
- ・ホイール上／ホイール下
各ホイールに割り当てられたピンがONになると、マウスのホイールを上または下に回したのと同じ動作をします。
ホイールの速度は「移動速度」で設定できます。デフォルトは50で、1～255の範囲で設定し、値が小さいほど、ホイール速度は遅く、値が大きいほどホイール速度は早くなります。
- ・カーソル速度変更
カーソル速度変更に割り当てられたピンがONになると、上移動／下移動／左移動／右移動のカーソル速度がこのピンに設定された値に変更されます。
この変更は、このボタンが押されている間のみ有効になります。
01ピンにカーソル左移動を移動速度50で、02ピンにカーソル速度変更を移動速度100で設定すると、01ピンだけを押した場合には左に速度50で、02ピンを押しながら01ピンを押した場合には速度が100になります。

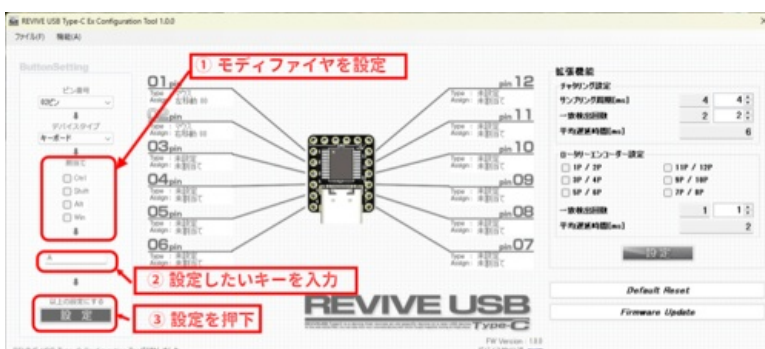
3.3.2 キーボード

テキストボックスに入力された文字を出力できます。

Ctrl／Shift／Alt／Winのチェックボックスにチェックを入れるとテキストボックスのキーと同時入力ができます。必要なモディファイア（Ctrl／Shift／Alt／Win）のチェックボックスにチェックを入れ、テキストボックスにキー入力し、設定ボタンを押下します。

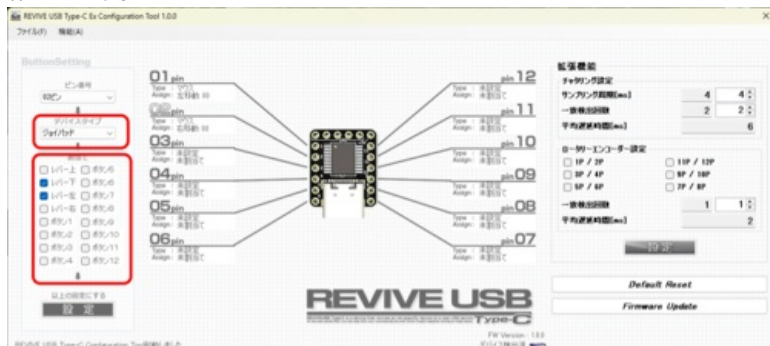
割り当てられたピンがONになると、設定したキー押下の動作が割り当てられます。

例：テキストボックスに「Delキー」を入力し、[Ctrl]と[Alt]にチェックを入れ「設定」を押すと、CTRL + ALT + DELが入力できるようになります。



3.3.3 ジョイパッド

ジョイパッドは上下左右レバー、および最大12個のボタンがあるものを想定しています。
レバー上下左右／ボタン1～12の中から対応させたいピンをチェックします。
複数のチェックを入れた場合、全てが反応するようになります。
例えば、「ボタン1」と「ボタン3」にチェックを入れた場合、そのピンがONになると、「ボタン1／3」が同時に押された動作をします。



3.4 拡張機能

拡張機能では、ロータリーエンコーダーとチャタリング防止の設定を行うことができます。
拡張機能表示がない場合は左上のメニューから「機能」「拡張機能」を選択してください。

3.4.1 ロータリーエンコーダー設定

拡張機能で、ロータリーエンコーダー読み取り機能の設定ができます。
読み取れるエンコーダはA/B2相タイプのものになります。
隣り合う2ピンを一つのエンコーダに割り当てることができます。



機能は回転方向ごとにそれぞれ割り当てられます。通常の機能設定と同様に設定してください。
ロータリーエンコーダからパルスが入力されるごとに、回転方向に応じて信号をPCに送出します。



回転方向と機能の割り当てを逆にしたい場合は、以下のどちらかを行うことで変更できます。

- ツール上でペアのピンのそれぞれに割り当てた機能を逆にする
- エンコーダのA相/B相の結線を逆にする

3.4.2 チャタリング防止設定

拡張機能で、チャタリング防止のための複数時点検出機能の設定ができます。スイッチが一度ONになると、そのタイミングから「サンプリング周期[ms]」で設定した間隔ごとにスイッチの状態を確認します。連続で「一致検出回数」で設定した回数以上スイッチがONであることが確認できれば、そのピンに指定された信号をPCに送出します。

